

やじろべえ

発行日 2024 年 12 月
発行 中原区地域教育会議
編集 広報委員会
事務局 川崎市中原市民館内
川崎市中原区新丸子東 3-1100-12
電話 044-433-7773 FAX 044-430-0132

こんにちは！たんぽぽちゃです

たんぽぽちゃとは・・・

中原区地域教育会議で行っている、子ども会議の子ども実行委員の委員会！

正式には『中原区地域教育会議 中原区子ども会議

子ども実行委員会たんぽぽちゃ』という名前です。

川崎市の子どもの権利条例に基づき、毎年1月に中原区子ども会議を

開催しています。その子ども実行委員会が私たち「たんぽぽちゃ」です。

川崎市には、川崎市子ども会議(川子会)もあり、市内7区の中学校区地域教育会議でも地域の特色を生かした子ども会議が行われています。

たんぽぽちゃには、数年前、当時のメンバーが描いて作られたマスコットキャラクターの「たんぽぽうさぎ」の「ふわりー」「ぶらっと」もいるんですよ。私たち「たんぽぽちゃ」をどうぞよろしくお願いします。



最近の活動を紹介します。

《中原区子ども会議子ども実行委員会》

「たんぽぽちゃ」活動報告

【 地域の清掃活動 】

毎月第3日曜日の10:00から行われている地域清掃に参加して1年半ほどになりました。

普段から通っている道をきれいにするのは、気持ちよく楽しい活動です。ただ、年度後半になると、学校や子ども会議などの準備に取りかかるため、参加できる人がとても少なくなっていきます。

この活動は、地域の方なら子どもから大人まで、どなたでも参加することができます。参加してみたい方は、第3日曜朝10:00少し前に中原市民館正面玄関前に軍手を持っていらしてくださいね。

・小学生は、保護者や大人と一緒に参加してください。

主催：「エコラブかわさき（環境教育学習プロジェクト）」代表 竹井 斎



【 毎年恒例 夏の研修合宿！ 】

今年もたんぽぽちゃメンバーみんなが楽しみにしている「研修合宿」に行ってきました。場所は毎年お世話になっている、宮崎台の「川崎市青少年の家」です。小学生3人の内初めて家族から離れてお泊りの子もいて、ドキドキわくわくの参加でした。

また、今年はサポーターの参加も少なく、高校生にとっては、違う意味でのドキドキもありました。

《 定例会での研修合宿事前準備 》

定例会での準備は、数か月前から始めます。

今年は初参加の子へ説明から行いました。

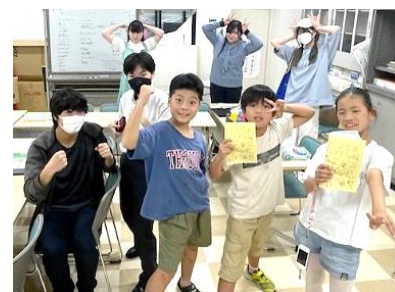
研修合宿でどんなことを決め、何をしたらよいか、



話し合い、タイムスケジュールを組んでいきます。それを「しおり」にまとめ、合宿への気持ちを高めてゆきます。出来上がったしおりは、子どもたちのひとつの作品となります。

今回は小学生が大活躍！かわいい仕上がりとなりました。

小学生3人思いも様々で、楽しみでしかたがない2人は行く前から大盛り上がり。まだ家族から離れて宿泊したことない子は、活動中には行く気満々でも、自宅に帰ると不安になる気持ちを繰り返し、ぎり



ぎりまで参加を悩みました。そんな思いを経て当日は3人揃って元気に参加することができました。

《研修合宿 7月23日(水)・24日(木)》

今回の研修合宿は、車で荷物の搬入ができなかったため、サポーターのほか大人実行委員の皆さまにもお手伝いいただき、水分補給のための大量の飲みものと、昼食などの買出し運び込みをお願いしました。参加してくださった大人実行委員が現たんぽぽちゃメンバーの保護者であることもあり、心強く、また今回初のお父さまのお手伝いがありとても助かりました！

お天気に恵まれ暑い暑い中を移動、涼しい電車を降りてからは炎天下の坂道を下って登ります。中原の子どもたちにとっては、大きな荷物を背負っての、この急な坂道も大きなイベントとなっています。

今回は、飛び入り参加の元気な小学2年生も日帰りで加わりパワーアップ。中学生が全員参加できずサポーターも少ない中、大奮闘の高校生でした。

途中からは療養中の元実行委員長の鈴木保さん(みんなが大好きな、たもじい)も、サポーターと共にやつを持って顔を出してくれました。



サポーターが所々で手伝ってくれることで元を取り戻しながら活動を進めることができました。

1日目の活動が終わるころ、学校や部活を終えたメンバーや、仕事を終えて駆けつけてくれるサポーターたちでにぎやかに。小学生たちは、会ったことのないサポーターもいて、個性豊かでそれぞれの接し方をしてくれるので、良い刺激になっています。



夜は恒例の花火。自宅近くではできなくなっている昨今、みんなで盛上がりしました。お風呂後のフリータイムをテンション高く過ごしていた小学生たちが、ある程度の時間であっさり眠ってくれ、大きな子たちは、それぞれに研修合宿ならではの貴重な夜を過ごしました。朝になると…睡眠でパワーをしっかりと充電した小学生と、寝不足の大きな子たち…そんな中でしたが、プチ会議やアイスブレーキングに使ってみたいゲームをやってみたりと、2日目の夕方までの予定をこなし、今年も楽しい研修合宿を無事に終えることができました。



【こどものまちミニカワサキに初参加！】

《10月12日(土)～14日(月祝)3日間開催、最終日の14日に参加♪》



きれいに晴れ渡った10月14日高津区橘公園で行われていた3日目のミニカワサキに参加してきました。

少人数での参加になりましたが、懐の大きいミニカワの子どもスタッフ・大人スタッフの皆さまにいろいろ教えてもらいながら起業。「クイズ屋さん」を出店しました。川崎市子ども未来局にもご協力をいただき「川崎市×うんこドリル 子どもの権利」を使った、「子どもの権利」を知り考えてもらうためのクイズを出題するお店です。

会場に着くと、ミニカワサキの会場は、オレンジ色のTシャツを着た小学生からのスタッフと、たくさんの小さな「こども市民」でにぎわっていました。

たんぽぽちゃメンバーはミニカワメンバーに説明を受け、「工房」で看板やジョブセンターに貼る「アルバイト募集」のポスター作りなど出店の準備から。



クイズ屋さんに参加代として、こどものお客さまには200ミニKをお支払いいただきます。(子どもたちは参加に当たって「市民証」をもらい、この町の通貨500ミニKを持ってスタート) 正解数をカードに書き、その数のキラキラシールをプレゼント。一緒に「川崎市×うんこドリル 子どもの権利」の冊子と、たんぽぽうさぎをレイアウトした、たんぽぽちゃのPR名刺を配付しました。店のアルバイトは「受付お手伝い」と「PR看板を持って会場内を回る係」を募集。お金が足りなくなったこども市民が代わる代わる来てくれます。20分働くと銀行が給料330ミニKを支払ってくれる仕組みです。

「大人は一切口出し禁止」のミニカワサキ。✖️を貼ったマスクをして「大人ツアー」に参加し、特別に「こどもエリア」内に入れてもらい、代表の大城英理子さんの説明を聞くこともできました。

2時間ほどでしたが、64人分の収益を得て、生きた「こどものまち」を体験することができ、とても大きな収穫を得た実りの秋の1日でした。

中原区地域教育会議 令和6年度 第1回中学校区交流集会 活動報告（ネットワーク会議の開催）
令和6年（2024年）7月10日（水）中原市民館多目的ホール 18:30～

【実行委員長あいさつ】地域教育会議発足と現状

地域教育会議は平成2年に試行的に市内の各中学校区で活動が始まり、平成10年に市内51中学校区と7つの行政区全てでスタートしました。中原区地域教育会議は発足から27年を迎えます。

これまで、教育を語る集いで「講演会」、子どもの権利条例に基づいた「中原区子ども会議」、中学校区交流集会で「事例発表など情報交換」を行ってきました。

また、4～5年前から文部科学省の施策として出された「地域学校協働活動」の推奨を受け、川崎市の地域教育会議は新たな活動を始めています。

その中の1つに「ネットワーク会議」があります。地域教育会議の構成員はPTA、各地域で活動しておられる民生委員、青少年指導員、学校の先生方など、幅広いです。互いの地域でどんな活動を行っているのかを知り、緩やかなネットワークをつくり、それぞれの課題を共有することによって、その中でどんな取り組みができるのかを考えていく場です。

今年2月に前期の委員でネットワーク会議を開催し、『皆さんの声を聞いて自分もホッとした』という感想を頂いております。

中原区地域教育会議、14期の活動始めにあたり参加の皆さんが顔見知りとなりゆるく繋がっていかれたと思います。

■ネットワーク会議

全体で自己紹介の後、A～E（各4～5人）の4つのグループごとに情報交換を行いました。

紙面の都合上最後に各グループから報告された内容を基に一部を紹介致します。

Aグループから

・地域の中で人と挨拶をする感覚を培われずに育っていく子が多いのか。

・活動するに当たって、夜の会議など時間的な問題、先生との連絡手段が取りにくく話が伝わりづらい。

・イベントには来るので、一緒にやろうという人が増えてくれると良い。

・井田中学校区では、井田小学校の和太鼓、ゲストの音楽家による演奏、最後に井田中学校の吹奏楽部が演奏する「ふれあいコンサート」を毎年開催していて、児童、生徒、地域の方が大勢親子で楽しんでいる。等

Bグループから

・いろんな役割を皆さん重なって活動している。できれば何か一本化できないか。

・中原区はとても活発で様々な地域の取組みがある、若い方にどうやって伝えて行ったらよいか。

・初めて参加した大人の方が『自分たちの役割は、どのようなことをしたら良いですか』という質問をされます。そこでは、「チラシ配りでも何でも良いのでいろんな形で参加できますよ」と声をかけている。そういったことで繋がっていくのも一つではないかというお話を頂いた。

・例えば地域のモルック大会があって、何人か子どもたちが参加して、そこで一緒に楽しむ中で世代を超えたつながりができたという場面も報告された。



モルック（1本） スキットル（12本） 倒れ方で点数が付く

・大人の孤立化と同様に子どもたちもSNSで繋がれば良いという考えもあるが、その人の温かみなどは一緒に話す中で伝わるのが大きいのではないかな。等

Cグループから

・中学生が何人か集って少し騒がしくしていると通報されてしまう。犯罪などを防ぐには、自分たちが子どもらしく伸び伸びと過ごして良いって心から思える心理的な安全性が確保できる場所を大人が準備する。等

Dグループから

・私の地域のいいところという話題で、川崎区の大師から中原区に来て思ったのは、農家や開けた土地が多いこと、また、神社が多いなと感じた。そういったことが伝承的なつながりになっているのではないかな。

・中原区は川辺が多く、二ヶ領、渋谷が整備されていて気持ちよく歩ける。そこに携わる人たちのつながりも感じた。等

Eグループから

・今の子どもたち、例えば小学校4年生、高学年になると授業が6時限あり学校が終わるのが3時半ぐらい、その後も習い事で時間を取られて地域で遊ぶ時間が少ない。もっと子どもに遊んでほしい。

・保育園では町内会の方が来てこどもたちと交流する機会をたくさん持っている事例が話された。等

～令和6年度 参加者募集のお知らせ～ お待ちしております！！

第30回中原区子ども会議
作ろう！100年ガイドブック！！
 ～昔と今を見てなかはらの100年後を考えてみよう～
 川崎市市制100周年を記念して

日時 令和7年1月19日（日）
 13時から15時45分（予定）
会場 川崎市中原市民館 多目的ホール
対象 区内の小学4年生～中高生
 くわしくは市のHP、チラシでお知らせします

たのしみにまってるよ♪



中原区地域教育会議 第36回 教育を語るつどい/第54回 保護者と教職員のつどい

明日も一緒にがんばれる！
心をふっと軽くする言葉
 ～やりたい事をあきらめない為に～

講師

渡邊 由紀子 先生



日時 令和7年2月8日（土）

お申込みはこちらから



13:00～16:00（受付 12:30～）



<http://mail-to.link/m8/4f9psi>

会場 川崎市中原市民館2階 多目的ホール

***Zoom参加も可**

地域の方でしたらどなたでも参加できます

【お申込み・お問合せ】

川崎市中原区地域教育会議事務局（中原市民館内）

川崎市中原区新丸子東3-1100-12

Mail address→nakaharatikyoku@gmail.com

☎044-433-7773 📠044-430-0132



～事務局より～

10月半ばに21研に参加、地域や学校、PTAの皆様と情報交換を行いました。

いつの日も変わらない子どもたちに対する愛情にうれしくなります。

子どもが幸せになるためにまず大人が幸せで元気でいてほしい。子どもの権利条例が制定されるときにあがった、子どもたちの意見です。

ウェルビーイング（体だけでなく心身ともに健康になる状態）というテーマの講演会も何度か聴講し、

日々のヒントをいただきました。目標はまだ道半ばですが、

～子どもがいきいき育つまち 大人も楽しく学べるまち～ 地域教育会議の理念を大事に

それぞれが日々楽しく充実しますように。今後ともよろしくお願いいたします。